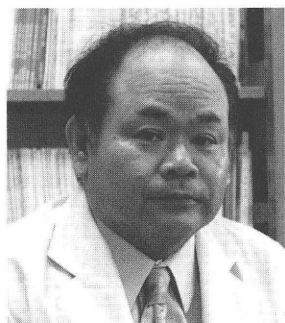


第32回日本小児歯科学会九州地方大会の開催にあたって



第32回日本小児歯科学会九州地方大会会長
九州歯科大学 口腔機能発達学分野教授

牧 憲司

清秋の候、皆様には、ますますご健勝にご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成26年度の第32回日本小児歯科学会九州地方大会および総会は、「夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～」をメインテーマに九州歯科大学 口腔機能発達学分野が担当させていただき、本年の11月23日（日）北九州市小倉の地にて開催いたす運びとなりました。生涯にわたる口腔の健康を維持していくためには、小児期からの健全な咬合育成が根幹にあるといっても決して過言ではないと思います。少子高齢化の現代であるからこそ、保護者の目は一層子どもたちの口腔に向けられております。社会的にみても少子化対策として、未来を担う子どもたちのために多くの支援対策がとられ始めております。今後、小児歯科の重要性は、一層クローズアップされてくるものと確信しております。

今大会は非常に盛りだくさんで内容の濃い企画となっております。特別講演Ⅰは、いなみ矯正歯科の居波徹先生に「小児歯科そして成育歯科医療へ」、特別講演Ⅱは、九州歯科大学 名誉教授の山口和憲先生に「口呼吸と咬合育成との関係について」、ご講演いただきます。お二人の長年にわたる臨床経験、研究成果についてのご講演は、皆様方にとって非常に貴重なものになると思います。教育講演は、おおの小児矯正歯科の大野秀夫先生に「予防学的視点に立った咬合の成育」についてご講演いただきます。ランチオンセミナーは「う蝕予防の新しい考え方～明確な目標を持ったアプローチとは～」と題して東北大学の小児発達歯学教授の福本 敏教授にご講演いただきます。

シンポジウムは、しながわ小児歯科医院の品川光春先生に「小児歯科の先輩から後輩へのメッセージ～地域における子どもたちの健康づくりへのサポート～」と題しましてコーディネートしていただき、創立百周年にちなんで九州歯科大学出身のご活躍中の6名の先生から、リレー形式でご講演いただきます。テーブルディスカッションは、小児歯科で非常に関心の高い2テーマについて2名の講師の先生方にそれぞれご依頼しておりますので、活発なご討論をしていただき明日からの臨床に大いに役立てていただきたいと思っております。

また歯科衛生士のための研修セミナーは、「楽しい歯科診療を行う支援ツール“絵本”の利用法」と題しまして、ご講演いただきます。歯科衛生士や臨床医にとって貴重なセミナーとなることを期待しております。そのほか展示発表・商業展示もごさいます。

このように非常に充実したプログラムを準備いたしましたので皆様多数のご参加を心よりお待ちしております。本大会が九州地方会のさらなる発展と会員の皆様の臨床のスキルアップに繋がることを祈念しております。最後になりましたが本大会開催にあたりご協力とご協賛賜った関係各位に厚く御礼申し上げ、大会長挨拶とさせていただきます。